

## 特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第11期7月度理事会議事録

- I. 日 時：平成26年7月26日（土）13:15～16:30
- II. 場 所：東京都港区 TKP田町カンファレンスセンター B1会議室
- III. 出席者数：理事総数26名 出席理事数26名（内委任出席5名）
- IV. 出席理事氏名：木戸康博（理事長）、鈴木公（副理事長）、荒川義人、池本真二、石見佳子、岡純、亀井明子、川島由起子、齋藤長徳、酒井映子、坂井堅太郎、酒井徹、鈴木和春、田中弘之、寺本房子、新澤祥恵、早瀬仁美（第62回学術総会会長）、春木敏、藤田修三、南久則、八木典子、石田裕美（委任出席）、上西一弘（委任出席）、笠原賀子（委任出席）、河野美穂（委任出席）、富田教代（委任出席）
- 出席監事氏名：酒元誠治、林静子
- その他の出席者：中村丁次第61回学術総会会長 鈴木志保子同学術総会総務委員長
- V. 審議事項
- 【I. 通常総会関連事項】
1. NPO第11期庶務報告
  2. NPO第11期事業報告及び決算報告
  3. NPO第12期事業計画案及び予算案
  4. 評議員候補者の選出
  5. 第63回日本栄養改善学会学術総会会長候補者の推薦
  6. 通常総会・評議員会の運営
- 【II. 庶務関連事項】
1. 理事候補者選挙管理委員の選出
  2. 平成26年8月以降の会議・行事予定
- 【III. 編集関連事項】
1. 栄養学雑誌投稿・掲載等の状況
- 【IV. 学術関連事項】
1. 第61回学術総会準備状況
  2. 第62回学術総会準備状況
  3. 第64回（2017年）学術総会会長候補者の推薦準備
  4. 倫理審査委員会報告
    - （1）倫理審査の状況
    - （2）ヘルシンキ宣言2013年修正に伴う倫理審査委員会規程の改正(案)
  5. 「実践栄養学用語」に関する書籍の刊行事業
  6. 管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム2015の提案
  7. 関連学協会等との連携
    - （1）公益財団法人不二たん白質研究振興財団「公開講演会『大豆のはたらきin仙台ー食を通して健やかな人生をー』」への後援
    - （2）NPO法人うま味インフォメーションセンター「2014うま味レクチャーin東京『世界をつなぐ“UMAMI”のちからーうま味を知る！料理は変わる！』」への後援
    - （3）厚生労働省「日本人の食事摂取基準（2015年版）策定検討会」報告
    - （4）大学病院医療情報ネットワーク「UMINシングルサインオン(SSO)を活用した臨床研究・治験のe-learningシステム」周知協力
    - （5）一般社団法人全国栄養士養成施設協会第3回通常総会祝電御礼
    - （6）やずや食と健康研究所「2014年度研究助成」周知協力

- (7) 小浜市「第13回杉田玄白賞」募集周知協力
- (8) 公益財団法人日本科学協会「平成27年度笹川科学研究助成の募集」周知協力

**【V. 広報関連事項】**

- 1. ホームページ事業

**【VI. 国際関連事項】**

- 1. IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ会計報告
- 2. 第12回アジア栄養学会議（ACN2015）共催シンポジウム

**【VII. 支部会報告】**

- 1. NPO第12期支部会活動費
- 2. 各支部会からの活動報告
  - (1) 北海道支部会
  - (2) 東北支部会
  - (3) 関東・甲信越支部会
  - (4) 北陸支部会
  - (5) 東海支部会
  - (6) 近畿支部会
  - (7) 中国支部会
  - (8) 四国支部会
  - (9) 九州・沖縄支部会

**【VIII. 回覧資料による各種報告】**

- 1. 学会誌転載許諾
  - (1) エイド出版

**VI. 議事の経過の概要及び議決の結果**

**【I. 通常総会関連事項】**

- 1. NPO第11期庶務報告・・・原案を承認した。会員数は7月29日に確定する予定であることが説明され、これを了承した。
- 2. NPO第11期事業報告及び決算報告・・・7月24日現在の事業報告と会計書類（活動計算書、事業別損益計算の状況、貸借対照表、見込計算書、収支計算内訳書、支部会活動費報告）が配付され、これを了承した。
- 3. NPO第12期事業計画案及び予算案・・・事業計画案と予算案（活動予算書、事業別損益予算の状況、予算内訳書、第61回学術総会予算案）が配布され、これを了承した。
- 4. 評議員候補者の選出・・・次期評議員候補者427名（新任57名、重任370名）を評議員会・通常総会に上程することとした。
- 5. 第63回日本栄養改善学会学術総会会長候補者の推薦・・・東北支部会から学術総会会長候補ではなく大会準備責任者の提案があった。理事長から、今期開催の理事会で、繰り返し東北支部会に学術総会会長候補者の推薦をお願いしてきた。学術総会会長を決定する総会を直前に控えた本日の理事会で、細則等関連規程にそぐわない提案は非常に残念である旨、発言があった。理事会は「大会準備責任者」として名前が挙がった吉池信男青森県立保健大学教授を、第63回学術総会会長として評議員会、通常総会に推薦することを承認した。また、東北支部会から提案のあった「大会準備責任者」については、次回理事会で検討することとした。
- 6. 通常総会・評議員会の運営・・・8月20日開催の会議（理事会、評議員会、通常総会）の議題、提案者を確認した。決算は、前回理事会ではパワーポイントで示すこととなっていたが、資料を配付することとなった。予算案は前期繰越金（正味財産額）と次期繰越金（正味財産額）を空欄にした状態で総会資料に掲載し、会議当日、空欄部分を補足することが説明され、これを

了承した。

## 【Ⅱ. 庶務関連事項】

1. 理事候補者選挙管理委員の選出・・・定数5名のうち、次の4名を承認した。1名については、次回理事会に提案することが説明され、これを了承した。

〔理事候補者選挙管理委員〕 荒井裕介、石井美子、鈴木志保子、松崎広志

2. 平成26年8月以降の会議・行事予定・・・主な会議の予定は次のとおりである。

〔理事会〕 8月20日、11月8日、2月7日、4～5月（期日未定）

〔監事会〕 8月19日

〔役付き理事打合せ〕 10月11日、1月16日、4月（期日未定）

## 【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌投稿・掲載等の状況・・・NPO第11期の投稿・掲載等の状況について、配付資料により報告された。

## 【Ⅳ. 学術関連事項】

1. 第61回学術総会準備状況・・・最終準備状況が説明され、当日参加者の確保に理事会も協力することを確認した。

2. 第62回学術総会準備状況・・・学術総会参加費(案)が配布されたが、実行委員会での検討が十分でないことから本理事会での提案を取り下げた。新たな試みとして検討している「1日参加費」について、①学会員を「主」に考えてほしい、②当日の受付業務を想定して検討してほしい、との意見があった。実行委員名簿、ポスター・チラシが配布された。

3. 第64回（2017年）学術総会会長候補者の推薦・・・NPO第10期5月度理事会（平成25年5月18日）で承認された、学術総会開催地の支部会持ち回り順が配付された。第64回は四国支部会が担当することを確認した。

### 4. 倫理審査委員会報告

- (1) 倫理審査の状況・・・通常総会に報告するNPO第11期の審査状況が配付資料により報告された。

- (2) ヘルシンキ宣言2013年修正に伴う倫理審査委員会規程の改正(案)・・・2013年10月ブラジル・フォルタルザ総会でヘルシンキ宣言が修正されたことに伴う改正案が配布され、原案を承認した。

5. 「実践栄養学用語」に関する書籍の刊行事業・・・表紙イメージ（書籍名「管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム準拠 管理栄養士専門用語集」）と組版見本が回覧された。書籍名について、①どのような内容の書籍なのか？（モデルコアカリキュラム準拠とは？）、②管理栄養士専門用語とは何か？、③学会監修書籍であるので「実践栄養学用語」のようなタイトルがふさわしいと思う、④「管理栄養士」でないものは関心を示さない、⑤「管理栄養士」とつけるからこそ普及する(売れる)、等の意見が出され、同書の編集委員会で再検討することとなった。

6. 管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム2015の提案・・・今期8月度理事会で第二次検討会から報告があった専門基礎分野・専門分野の実験、実習、演習の「コア」と、平成21年5月に採択したモデルコアカリキュラム案の実験、実習、演習部分の確認作業を役付理事で行っている。これを整理しモデルコアカリキュラム2015の提案として、来期の理事会採択を目指すことが説明された。理事会で審議するための資料は、初秋を目途に作業を急ぐ旨、補足された。

理事長から、この課題は本学会の重要な使命と考え、常置委員会の設置、日本栄養学教育学会との連携、など精力的な活動を継続して行いたい旨、説明があり、その方針を了承した。

7. 関連学協会等との連携・・・次の事業について対応したことが回覧資料により報告され、これ

を了承した。

- (1) 公益財団法人不二たん白質研究振興財団「公開講演会『大豆のはたらきin仙台ー食を通して健やかな人生をー』」への後援
- (2) NPO法人うま味インフォメーションセンター「2014うま味レクチャーin東京『世界をつなぐ“UMAMI”のちからーうま味を知る！料理は変わる！』」への後援
- (3) 厚生労働省「日本人の食事摂取基準（2015年版）策定検討会」報告
- (4) 大学病院医療情報ネットワーク「UMINシングルサインオン(SSO)を活用した臨床研究・治験のe-learningシステム」周知協力
- (5) 一般社団法人全国栄養士養成施設協会第3回通常総会祝電御礼
- (6) やずや食と健康研究所「2014年度研究助成」周知協力
- (7) 小浜市「第13回杉田玄白賞」募集周知協力
- (8) 公益財団法人日本科学協会「平成27年度笹川科学研究助成の募集」周知協力

#### 【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業・・・7月23日までの更新情報が配布資料により報告された。

#### 【VI. 国際関連事項】

1. IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ会計報告・・・関連機関への報告書の提出など最終的な業務が今月中に完了する予定であり、会計報告は8月19日の監事会で示すことが説明され、これを了承した。
2. 第12回アジア栄養学会議（ACN2015）共催シンポジウム・・・「高齢者栄養」をテーマに企画していることが説明され、これを了承した。

#### 【VIII. 支部会報告】

1. NPO第12期支部会活動費・・・次のとおり承認した。
  - (1) 基本活動費 20万円
  - (2) 会員数割活動費（正会員・学生会員1名あたり）  
会員数2,000名以上：100円 会員数2,000名未満：150円
  - (3) 市民公開講座事業費（限度額）  
単独開催：20万円 他の支部事業と併催、他団体等との共催：10万円  
事業費は開催2ヶ月前までに所定の申請があった場合に支出する。
  - (4) 追加活動費（NPO第11期4月度理事会承認）  
近畿支部会：20万円 近畿支部会以外の支部会：10万円
2. 各支部会からの活動報告・・・各支部長から報告されたNPO第11期事業報告・活動費支出報告・役員名簿とNPO第12期事業計画が回覧された。
  - (1) 北海道支部会・・・第12回支部会学術総会は、板垣康治北海道文教大学教授を学術総会会長とし、12月6日に藤女子大学で市民公開講座とともに開催する。
  - (2) 東北支部会・・・第1回支部会学術総会は、鈴木道子山形県立米沢栄養大学学長を学術総会会長とし、11月1日～2日に開催する。市民公開講座は、2月～3月に福島県での開催を予定している。
  - (3) 関東・甲信越支部会・・・第2回支部会学術総会は、石見佳子独立行政法人国立健康・栄養研究所部長を学術総会会長とし、2月下旬に独立行政法人国立健康・栄養研究所で開催する。
  - (4) 北陸支部会・・・第10回支部会学術総会は、2月22日に石川県で市民公開講座とともに開催する。
  - (5) 東海支部会・・・第3回支部会学術総会は、長村洋一鈴鹿医療科学大学教授を学術総会会長とし、6月29日に鈴鹿医療科学大学で市民公開講座とともに開催した。第4回支部会学術総会は、辻とみ子名古屋文理大学教授を学術総会会長とし、6月28日に名古屋文理大学で市民公開講座とともに開催する。

- (6) 近畿支部会・・・第13回支部会学術総会は、宮崎由子京都女子大学教授を学術総会会長とし、12月7日に京都女子大学で開催する。日本栄養・食糧学会近畿支部会と共催する第5回栄養学を志す若手のためのフォーラムは、12月6日に京都女子大学で開催する。
- (7) 中国支部会・・・第10回支部会学術総会は、坂井堅太郎広島女学院大学教授を学術総会会長とし、7月5日～6日に広島女学院大学で開催した。7月5日には市民公開講座を開催した。第11回支部会学術総会は、7月4日～5日に山口県で市民公開講座とともに開催する。
- (8) 四国支部会・・・第1回支部会学術総会は、酒井徹徳島大学大学院教授を学術総会会長とし、5月17日に徳島大学で市民公開講座とともに開催した。
- (9) 九州・沖縄支部会・・・第2回支部会学術総会は、江口和彦西九州大学准教授を学術総会会長とし、9月2日～3日に西九州大学短期大学部で市民公開講座とともに開催する。

**【Ⅷ. 回覧資料による各種報告】**

- 1. 学会誌転載許諾・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。
  - (1) エイド出版

**Ⅶ. 議事録署名人の選任に関する事項**

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、荒川義人理事及び石見佳子理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上